

2024 年度「台湾短期派遣プログラム報告書」

生命科学部・分子微生物学科・2 年・48623144・井口 橙子

1. 当初の目的

私は農業や食文化に関する知識を深め、異文化交流を通して自分の視野を広げることが目的でした。学科の授業では食品や植物の分野について学ぶ機会が多いものの実際に農業の現場でどのように作物が栽培されているのかを知る機会はありませんでした。このプログラムを通して農作物がどのように栽培され、どのような最新技術が使われているのかを知ることはこれからの学科での学びや研究に役立つと考えていました。個人の旅行や他の留学プログラムではできない農大の留学プログラムだからこその実地での学びを得ることも目的の一つでした。

また、現地の学生に積極的にコミュニケーションをとり、考え方や文化の違いを自分の肌で感じたいと考えていました。英語を使って主体的に学び、英語で自分の考え伝える力を伸ばすことを目標にしていました。

2. 目的達成のために現地で活動した内容

花卉農業試験場や Jing Pin ガーデン、コーヒーファーム、農業部台南区農業改良所など様々な訪問した場所で最新の農業技術や作物の栽培方法を学びました。その内容を記します。

2-1. 花卉農業試験所

ここでは胡蝶蘭やアンスリウムを育てているハウスの見学をしました。ハウスの中の温度や湿度管理は自動で行われていました。また LED ライトを使って胡蝶蘭を育てているハウスもありました。この技術は日本でも見たことがありましたが天候に左右されることなく植物の成長状況に合わせて光を調節出来るため広く使われているのだと感じました。

2-2. Gu Quan Coffee

日本ではあまり見ることのないコーヒー農園を見学しました。コーヒーがどのようなになっているのか、コーヒーの実も見たことがなかったため貴重な体験でした。

ここではロブスター、レブ리카、アラビカの 3 種類のコーヒーの木が育てられていました。コーヒーの実の収穫は花が咲いてから 8 か月ごとに行います。木、一つひとつによって花が咲く時期が異なるため収穫はすべて人の手で行うそうです。そのため収穫をしやすくするために木は人と同じくらいの高さに調整されていました。広大な土地でたくさんの木を育てていたのだから収穫は機械で行っていると思っていたのですが、手作業で行うことに驚きました。コーヒーの焙煎も体験しました。普段は機械で行っているそうですがコーヒーの実の種がどのように加工されていくのかを体験しながら学ぶことが出来ました。

2-3. Jing Pin Garden

台南でトルコギキョウを栽培している Jing Pin Garden を見学しました。こちらの農家では様々な作業の機械化が進められていました。まずハウスの中の温度、湿度、二酸化炭素濃度の管理を機械で行っていました。人が調節するよりも自動化したほう

がお金と時間が削減できるそうです。苗の発芽状況を自動で判断する機械も使われていました。発芽していない苗は機械の中でエアガンのようなもので飛ばされ、人が苗を一つ一つ確認する作業を短縮することができます。水やりは発芽からどのくらい経っているかに応じて自動と手動を使い分けていました。農家は自身の花を育てる数、農場の広さ、従業員の人数など様々な観点から計算して機械をつかうべきかそうでないかを判断していることが分かりました。

2-4. 農業部台南区農業改良所

ここでは作物の水やりをドローンで行っている様子を見学しました。ドローンは数年前から機械化のツールとして使われていることは知っていましたが実際に使われている場面を見たのは初めてでした。ドローンでは20Lの水を持ち上げて上から水を散布することができます。広い農場に指先の操作で水をやる事が出来るため農業人口が減っているこれからにすごく必要な技術だと感じました。ドローンのバッテリーは10分ほどしか持たないという課題もあるそうです。

2-5. 南投名間茶

南投の名間で烏龍茶畑を見学しました。烏龍茶は収穫してから日光下で日干しをしてから発酵させます。お茶を摘み、お茶揉みも行いました。火にかけた鍋でお茶を炒るとお茶のにおいがしてきました。お茶を揉むと梅のにおいがしてくると説明を受けましたがそれを感じることは難しかったです。お茶を摘むところからその加工の過程を体験することが出来ました。

現地の人と積極的にコミュニケーションをとるために土日に中興大学の学生が企画してくれたツアーに参加しました。そこで出会った学生に台湾の伝統的な食べ物を教えてもらったり、お互いの学生生活について話したりしました。現地の学生と話す中で日本と台湾の文化の違いや日本にどのような印象を持っているのかを知ることが出来ました。

3. 目標達成度の自己評価

中高大学での授業や試験場の訪問、コーヒーファームやパイナップル農家、烏龍茶畑での収穫体験、たくさんの場所に見学に行き、プログラムに参加する前に想像していたよりもたくさんの経験をする事が出来ました。目的としていた作物の栽培方法や最新の農業技術を知るという目的は達成できました。学科で直接的に農業について関わる事がなかったとしても食品や植物の分野を学んでいる以上、どのように栽培されているのか実際に見ることや、農業の問題について知り、考えることは大切だと感じました。ここで得た知識は農大のこのプログラムに参加したからこそ得られたもので、参加してよかったと感じています。

英語についてはまだ努力が必要だと感じました。中興大学の先生方説明や訪問先での説明で意味が理解できないことが多々ありました。しかし、現地の学生とたくさんコミュニケーションを取れたことはとても良かったと考えています。現地の学生は英語で難なくコミュニケーションを取れる人が多かったのですが私が一生懸命伝えようとしていることを聞こうとしてくれました。日本に興味を持っている学生もいて日本語を覚えようとしてくれたり、日本の文化について聞いてくれたりして自分では気づ

かななかった日本の良さを発見することもありました。文法が正確ではなくても失敗を恐れずに話してみることが大切だということに気づかされました。また、現地の学生と夜市や市場に行き、台湾の食文化を肌で感じる事が出来ました。自分たちだけでは挑戦できなかった料理に挑戦し、その体験が貴重でした。

土日のツアーが終わったあとも学生と連絡を取り続け、個人的に待ち合わせをし、帰国する前日にもう一度会うことが出来ました。一緒に過ごした時間は短かったけれど私たちに親切にしてくれてとても良い時間を過ごすことが出来ました。日本にいと英語を話す場所は授業や英会話のレッスンで自分の思いを伝える機会はあまりありませんでした。台湾で同世代の学生と自分の英語でコミュニケーションを取る経験は非常に貴重で、その経験が今後の英語学習に対する大きなモチベーションとなりました。

4. 今後の取り組み

今回の研修で台湾の農業について学ぶ機会が多かったので日本の農業についても調べてみたいと考えています。台湾の食文化を体験して日本との違いを知ることに関心を持ったので他の国と食文化も学んでみたいと感じました。また、英語の勉強により力を入れたいです。自分の考えを伝えたいけど言葉が分からなくて伝えられないということがあり、悔しい思いをしました。自分自身の言葉のレパートリーが少ないということを実感したので英単語や英熟語を再度覚え直したいです。そして以前から通っている英会話教室にも通い続けたいと思います。また、TOEICを受験し英語力を向上させられるようにしたいと考えています。今までは漠然と英語を話せるようになりたいと思っていましたが今回のプログラムを通して、こういう場で相手の話を全て理解し、自分の言葉で思いを伝えたいという明確な目標が出来ました。この気持ちを忘れずに英語の勉強に励みたいと思います。

5. その他

(ア)持っていって良かったもの

- ・ 羽織る上着:最初の一週間は気温があまり上がらなかったなのでパーカーと薄手の上着があってちょうど良かったです。
- ・ ティッシュ:公共のトイレだとペーパーが中に入らないことが何回かあったので常にポケットティッシュは持っておくと安心です。
- ・ スマホホルダー:大きな荷物は部屋に置いて農家などの見学に行くことが多かったのですがこれがあると両手が空いて便利でした。
- ・ リュック:台南に2泊するときにスーツケースは寮において行きました。2泊分の必要なものが入られるリュックなどの大きめのバッグがあると良かったです。
- ・ 帽子:2週目は気温がかなり上がり日差しが強かったので持って行って良かったです。
- ・ パソコン:ファイナルレポートの準備をするときに必要でした。寮の部屋にはWIFIがあるのでそれに接続して使うことができます。
- ・ 虫よけスプレー:私は持って行かなかったのですが部屋に蚊がいたこともあったのでであると良いと思います。

(イ)用意したがいらなかったもの

・洗剤:コインランドリーは洗剤が自動投入だったため必要ありませんでした。

(ウ)現地で使用したお小遣いの金額

ご飯代とお土産代合わせて2万3000円くらいでした。

台湾ドルが最低でも1万5000円くらいはあると良いと思います。

6. 次年度以降の参加者へ

(ア)事前に準備した方がよいこと

最初に簡単な自己紹介があったので自分が大学で勉強していることなど話せるように準備しておくの良いと感じました。

・クレジットカード:私はタッチ決済機能が付いていないクレジットカードを持っていきました。コンビニやスーパーなどでタッチ決済のみしか取り扱っていない場所が多くあり、クレジットカードが使えませんでした。(ショッピングモールや観光地では差し込み式でも使えました。) タッチ決済ができるクレジットカードを用意するかapple payなどを入れていくほうが支払いに困らないと思います。平日は朝から夕方までプログラムが組まれているので銀行などで日本円を両替することは難しかったです。現金が足りなくなった時にコンビニのATMでキャッシングする方法もありますが私の持っていたカードは事前に申請が必要で現地では出来ませんでした。キャッシングができるかどうかを確認しておくと思えます。

(イ)勉強しておくべきこと

英語はできるだけ聞き取れたり、話せたり出来たほうがより楽しめると感じたので勉強しておくの良いと思いました。台湾の学生に聞きたいことなどを考えて文のパターンを考えておくスムーズに話せるかもしれません。



中興大学での授業の様子



南投名間茶でのお茶摘み



Jing Pin Garden



中興大学でのピザとパイナップルケーキ作り



土日のツアーでの集合写真



台南での食事の様子